松本理容美容専
門学校

授業計画(シラバス)

授業科目名	関係法規・制度		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位
			必須科目			美容科	1～２年次	３０時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	１年次4月～２年次２月	時限		資格対応	国家試験			

担当教員	山川	講師の実務経験	３年以上	3

授業概要	社会で行われる様々な法律行為の理解と、美容所に勤める場合や経営する場合に必要な関係法規・制度について理解する	
授業方法	講義～確認テスト～期末試験	
授業目標	思考・判断・表現	各章の確認テスト
	関心・意欲・態度	授業出席・課題提出
	知識・理解	学期ごとの期末テスト
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判	関心・意	知識・理解	合計(点)
	法の役割	確認テスト及び期末試験	25	25	50	100
	衛生行政	確認テスト及び期末試験	25	25	50	100
	理容師法	確認テスト及び期末試験	25	25	50	100
	関連法規	確認テスト及び期末試験	25	25	50	100
	合計		100	100	200	
評価の表示	国家試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する					

評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0
		5段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	日本理容美容教育センター関係法規制度テキスト．ワークブック
その他参考書	担当教員作成のポイント集及び問題集、参考資料

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1～５回．4月～7月	法制度の概要（法の形式・衛生法規の概要・美容師法、理容師法と付属法令）の理解
６回～８回．10月～12月	衛生行政の概要（衛生行政の意義と歴史・衛生行政の分類と生活衛生行政の内容・衛生行政を担う行政機関）の理解
９回～１０回．1月・2月	理容師法、美容師法（目的・用語の定義・美容師に関する規定・美容所に関する規定・立ち入り検査・違反者に対する行政処分・罰則）の理解
11回・12回．5月・6月	関連法規（美容業の運営に関する法律・美容業の衛生に関する法律・美容業の消費者保護に関する法律）の理解
13回・10月	国家試験対策問題（過去問題を中心に国家試験の傾向と対策を行う）
14回・15回．1月・2月	国家試験対策問題（国家試験の傾向と対策を行う）
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	衛生行政勤務の経験を活かし、現在の衛生行政における法規制を含め、美容師として必要な法律についての講義を行う。理・美容師の仕事は国民の衛生に関することなので行政機関による指導のもとで法令を守り理・美容業を行うよう助言をし、法令を守る理・美容師の育成をしていく。
備考	

松本理容美容専
門学校

授業計画(シラバス)

授業科目名	衛生管理	科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位時間)
		必須科目			美容科	1～２年次	９０時間

必修・選択	必修	その他履修条件			
開講期	１年次５月～２年次２月	時限		資格対応	国家試験

担当教員	下枝、下澤	講師の実務経験	３年以上	3

授業概要	感染症についての的確な知識・技能、感染を防止する消毒と業務との論理的な理解をし公衆衛生の向上に努める	
授業方法	講義～確認テスト～期末試験	
授業目標	思考・判断・表現	各章の確認テスト
	関心・意欲・態度	授業出席・課題提出
	知識・理解	学期ごとの期末テスト
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)		
	公衆衛生		25	25	50	100		
	感染症		25	25	50	100		
	衛生管理技術		25	25	50	100		
	消毒法		25	25	50	100		
	合計		100	100	200			
評価の表示	国家試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0
			5段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	日本理容美容教育センター衛生法規テキスト．ワークブック
その他参考書	担当教員作成のポイント集及び問題集、参考資料

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1～８回．4月～7月	公衆衛生・環境衛生
９回～１８回．10月～12月	感染症
19回～25回．1月・2月	衛生管理技術
26～31回．5月・6月	消毒法
32～41回・9～12月	国家試験対策問題（過去問題を中心に国家試験の傾向と対策を行う）
42～45回．2月	国家試験対策問題（国家試験の傾向と対策を行う）
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	衛生行政勤務と、薬剤師、看護師の経験を活かし、社会の中で求められている衛生管理の重要さ、理・美容師として必要な衛生管理、衛生行政についての講義を行う。特に理・美容師の仕事上、必要な衛生管理、環境衛生、感染症予防への理解を深めさせ、消毒の重要性を伝えていく。
備考	

松本理容美容専門学校

授業計画(シラバス)

授業科目名	保健		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位
			必須科目			美容科	1～２年次	９０時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	１年次５月～２年次２月	時限		資格対応	国家試験			

担当教員	永田,高山	講師の実務経験	３年以上	3

授業概要	美容師として必要な、頭頸部の構造や機能について深い知識を得る	
授業方法	講義～確認テスト～期末試験	
授業目標	思考・判断・表現	各章の確認テスト
	関心・意欲・態度	授業出席・課題提出
	知識・理解	学期ごとの期末テスト
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)		
	頭頸部・骨格・筋肉・神経・感覚器		25	25	50	100		
	血液循環・呼吸器・消化器		25	25	50	100		
	皮膚と皮膚付属器官の構造、生理機能、神経系		25	25	50	100		
	皮膚と皮膚付属器官の保健と疾病		25	25	50	100		
	合計		100	100	200			
評価の表示	国家試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0
			5段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	日本理容美容教育センター美容保健テキスト．ワークブック
その他参考書	担当教員作成のポイント集及び問題集、参考資料

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1～5回．4月～7月	人体の構造及び機能（頭頸部・骨格・筋肉・神経・感覚器）
6回～8回．10月～12月	人体の構造及び機能（血液循環・呼吸器・消化器）
9回～１０回．1月・2月	皮膚科学（皮膚と皮膚付属器官の構造、生理機能、神経系）
11回・12回．5月・6月	皮膚科学（皮膚と皮膚付属器官の保健と疾病）
13回・10月	国家試験対策問題（過去問題を中心に国家試験の傾向と対策を行う）
14回・15回．1月・2月	国家試験対策問題（国家試験の傾向と対策を行う）
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	薬剤師、看護師としての経験の中で、使用していく薬品の影響がある皮膚構造、毛髪の構造への理解を深め、理・美容師として必要な人体・皮膚科学についての講義を行う。特に皮膚、毛髪においては理美容室の現場で、薬品トラブル等もあるため、皮膚構造等、しっかり理解させていく
備考	

松本理容美容専門学校

授業計画(シラバス)

授業科目名	香粧品化学		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位
			必須科目			美容科	1～２年次	60時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	１年次５月～２年次２月	時限		資格対応	国家試験			

担当教員	唐木、長田	講師の実務経験	３年以上	3

授業概要	美容師としての香粧品の性状や使い分け、社会的な意義や法的根拠、安全性について学び、公衆衛生に資する知識を身に着ける	
授業方法	講義～確認テスト～期末試験	
授業目標	思考・判断・表現	各章の確認テスト
	関心・意欲・態度	授業出席・課題提出

授業目標	知識・理解	学期ごとの期末テスト
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)			
	香粧品概要　確認テスト及び期末試験		25	25	50	100			
	皮膚の香粧品　確認テスト及び期末試験		25	25	50	100			
	頭皮・毛髪の香粧品確認テスト及び期末試験		25	25	50	100			
	基礎科学　確認テスト及び期末試験		25	25	50	100			
	合計		100	100	200				
評価の表示	国家試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する								
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0	
			5段階評定	5	4	3	2	1	

テキスト・教材	日本理容美容教育センター香粧品化学テキスト．ワークブック
その他参考書	担当教員作成のポイント集及び問題集、参考資料

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1～6回．4月～7月	香粧品概要・香粧品用原料（香粧品の社会的意義・香粧品の安全性と取扱い・様々な技術の香粧品原料など）の理解
7回～16回．10月～12月	基礎香粧品・メイクアップ用香粧品（皮膚の香粧品）の理解
17回～20回．1月・2月	頭皮・毛髪用香粧品、芳香製品と特殊香粧品の理解
21～24回．5～7月	香粧品化学を理解するための基礎科学
25～29回・10～12月	国家試験対策問題（過去問題を中心に国家試験の傾向と対策を行う）
30回．2月	国家試験対策問題（国家試験の傾向と対策を行う）
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	理科教員の経験の中で培った、化学的薬品の知識に基づき、理容師として必要な香粧品化学についての講義を行う。香粧品の原料や使用方法、香粧品の社会的意義や法的根拠、製品の安全性などを理解することで、公衆衛生に資する理容師の育成に役立てる。
備考	

松本理容美容専門学校

授業計画(シラバス)

授業科目名	運営管理		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位
			必須科目			美容科	1～2年次	30時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年次5月～2年次2月	時限		資格対応	国家試験			

担当教員	佐々木	講師の実務経験	3年以上	3

授業概要	経営者の考え方や経営者が果たす責任、顧客を満足させるサービスとは何か、それをどう実現するかについて学ぶ	
授業方法	講義～確認テスト～期末試験	
授業目標	思考・判断・表現	各章の確認テスト
	関心・意欲・態度	授業出席・課題提出
	知識・理解	学期ごとの期末テスト
	備考	

	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
	経営者の視点（経営とは・理美容の経営		25	25	50	100

評価	経営者の視点（資金の管理）	25	25	50	100			
	従業員としての視点	25	25	50	100			
	顧客のために	25	25	50	100			
	合計	100	100	200				
評価の表示	国家試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0	
		5段階評定	5	4	3	2	1	

テキスト・教材	日本理容美容教育センター運営管理テキスト．ワークブック
その他参考書	担当教員作成のポイント集及び問題集、参考資料

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1～3回．5月・6月	経営が必要とされる理由、経営資源と経営戦略
4回～8回．10月～12月	資金の管理（収支と損益、会計の考え方、コストの管理、税金について）
9回・10回．1月・2月	人という資源、人の能力を高める、健全・安全な職場、社会保険、キャリアプランの重要性
11回．6月	顧客のために（マーケティング、接客について、接客の実践）
12～14回・10～12月	国家試験対策問題（予想問題を中心に国家試験の傾向と対策を行う）
15回．2月	国家試験対策問題（国家試験の傾向と対策を行う）
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	社会科教師の経験により、社会の動向や競争の中で変化していくなか、店を守り発展していく理美容の経営について講義を行う。顧客や社会のために仕事を担う責任についてより有能で活躍できる美容師の育成を目的とする。
備考	

松本理容美容専門学校

授業計画(シラバス)

授業科目名	文化論		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位
			必須科目			美容科	1～２年次	60時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	１年次4月～２年次２月	時限		資格対応	国家試験			

担当教員	百瀬　、　担任	講師の実務経験	3年以上	3

授業概要	歴史の中で髪型、化粧、服装の変遷と流行を時代背景と結びつけて学ぶ。流行のメカニズムを知り、デザインを起こす一助として理解する。	
授業方法	講義～確認テスト～期末試験	
授業目標	思考・判断・表現	各章の確認テスト
	関心・意欲・態度	授業出席・課題提出
	知識・理解	学期ごとの期末テスト
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
	理容業の歴史		25	25	50	100
	ファッション史日本編		25	25	50	100
	ファッション史西洋編		25	25	50	100
	礼装の種類		25	25	50	100

	合計	100	100	200				
評価の表示	国家試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0	
		5段階評定	5	4	3	2	1	

テキスト・教材	日本理容美容教育センター美容文化論テキスト．ワークブック
その他参考書	担当教員作成のポイント集及び問題集、参考資料

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1～5回．4月～7月	日本の理容業・美容業の歴史(江戸～　近代～　現代～)
6回～8回．10月～12月	ファッション文化史　日本編
9回～１０回．1月・2月	ファッション文化史　西洋編
11回・12回．5月・6月	礼装の種類
13回・10月	国家試験対策問題（予想問題を中心に国家試験の傾向と対策を行う）
14回・15回．1月・2月	国家試験対策問題（国家試験の傾向と対策を行う）
備考	

時間外での学習	国家試験課目のため、見返りプリント等で復習。
講師の実務経験と授業の関係	免許取得後サロン従事、文化論教員免許を取得、美容師としての経験を活かし授業内容に反映させ展開する。
備考	

松本理容美容専門学校

授業計画(シラバス)

授業科目名	美容技術理論		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位
			必須科目			美容科	1～２年次	150時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	１年次4月～２年次２月	時限		資格対応	国家試験			

担当教員	小口/平林/酒井/中村/池脇/布山/古村	講師の実務経験	3年以上	3
授業方法	講義～確認テスト～期末試験			
授業目標	思考・判断・表現	各章の確認テスト		
	関心・意欲・態度	授業出席・課題提出		
	知識・理解	学期ごとの期末テスト		
	備考			

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
	美容用具・シャンプーイング・ヘアデザイン		25	25	50	100
	カッティング・パーマネントウェーピング・セッティング		25	25	50	100
	ヘアカラー・エステティック・ネイル		25	25	50	100
	メイク・日本髪・着付け		25	25	50	100

評価の表示	国家試験の基準に沿って100点満点より算出し、点数化し評価する							
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	１００点法	１００～８０	７９～６５	６４～６０	５９～２１	２０～０	
		５段階評定	5	4	3	2	1	

テキスト・教材	日本理容美容教育センター美容技術理論１・２テキスト．日本理容美容教育センター美容実習１・２テキスト、ワークブッ

その他参考書	担当教員作成のポイント集及び問題集、参考資料

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1～24回．4月～7月	美容用具、名称・シャンプーイング・ヘアデザイン(美容技術を学ぶにあたっての基礎知識と名称)について理解する
25回～41回．10月～12月	ヘアカッティング・パーマネントウェービング・ヘアセッティングの理論を理解する
42回～45回．1月・2月	ヘアカラーリング・エステティック・ネイルの理論を理解する
46～53回．5～７月	メイクアップ・日本髪・着付けの理論を理解する
54～67回・10～12月	国家試験対策問題（過去問題を中心に国家試験の傾向と対策を行う）
68～75回．１・2月	国家試験対策問題（国家試験の傾向と対策を行う）
備考	

時間外での学習	技術理論だけでなく実技を通して理解ができるよう個別指導を行う
講師の実務経験と授業の関係	美容師としてサロンの実務経験の中で培った美容技術、知識を理論を授業に用い、経験と合わせて伝えていくことで、イメージが付きやすく、美容室勤務の際にはスムーズに技術に入りやすくなることを目的としている。また国家試験において技術理理論のポイントを絞り、合格できるように指導を行う
備考	

松本理容美容専門学校

授業計画(シラバス)

授業科目名	美容実習（ワインディング）		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間
			実技			美容科	1～２年次	210時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	１年次4月～２年次１１	時限		資格対応	国家試験			

担当教員	小口/酒井/中村/平林/池脇/布山/古村	講師の実務経験	年以上	3

授業概要	国家試験課題であるワインディング技術を正しく理解させる	
授業方法	理論～展示～実習～理論～実習～確認テスト～確認実習～期末試験	
授業目標	思考・判断・表現	全体バランス
	技能	基本技術　ブロッキング・スライス・シェープ・巻き込み・ゴムかけ
	関心・意欲・態度	授業出席・課題提出
	知識・理解	ステムの角度と方向
	備考	決められた時間内に作成すること（国家試験は２０分間）

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
	確認テスト(正しい収まり方)		25	25	25	25	100
	確認テスト(決められた時間内での作成)		25	25	25	25	100
	期末試験(決められた時間内で正しく巻く)		50			50	100
評価の表示	国家試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する						
評価の特記事項	基本の巻き方や姿勢を体得し、決められた時間内で国家試験課題を正しく作成できること(時間設定は一か月前に告知)						

テキスト・教材	国家試験課題集・美容技術理論・美容実習・理容師美容師教育センターＤＶＤ
その他参考書	展示作品(合格ライン完成作品・ステムの方向と角度の展示作品)

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回～4回　4月	ウィックの取り扱い・コームワーク等基本の巻き方・ブロッキング　　準備や正しい姿勢、基本技術の理解を目標
5回～10回　5月	オールパーパス全頭巻　　基本技術を生かし、頭の丸みに合わせて巻くことを目標とする
11回～21回　6月	国家試験課題　全頭　　国家試験課題を正しく巻く
22回～30回　7月	国家試験課題　全頭　　決められた時間内に国家試験課題を正しく巻く

３１回～３５回　1月	国家試験課題　全頭　　決められた時間内に国家試験課題を正しく巻く
３６回～４０回　4月	国家試験課題　全頭　　決められた時間内に国家試験課題を正しく巻く
４１回～45回　6月	国家試験課題　全頭　　決められた時間内に国家試験課題を正しく巻く
４６回～４８回　7月	国家試験課題　全頭　　決められた時間内に国家試験課題を正しく巻く
４９回～５２回　１０月	国家試験課題　全頭　　決められた時間内に国家試験課題を正しく巻く
５２回～５５回１１月	国家試験課題　全頭　　決められた時間内に国家試験課題を正しく巻く
備考	

時間外での学習	練習の回数を重ねることで、正しいワインディング技術と理解が深まるため課題提出を行う。
講師の実務経験と授業の関係	美容室勤務の経験を活かし、スタイルづくりに欠かせないパーマ技術について授業を行う。授業内ではウィックに行うが、美容室では、さまざまな頭部や毛髪に合わせて技術を行うため、美容師としての経験の中で授業に合わせて伝えていくことで、イメージが付きやすく、美容室勤務の際にはスムーズに技術に入りやすくなることを目的としている。
備考	

松本理容美容専門学校

授業計画(シラバス)

授業科目名	美容実習（サロン実習・シャンプー）		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間
			実技		○	美容科	1～２年次	１50時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	１年次4月～２年次１１月	時限		資格対応	国家試験			

担当教員	小口/酒井/中村/平林/池脇/布山/古村	講師の実務経験	年以上	3

授業概要	全ての基礎を作る前の施術であるシャンプー技術を正しく理解させ、お客様にとって気持ちよい施術を行う	
授業方法	展示～実習～確認テスト～サロン実習～実習～確認テスト～サロン実習	
授業目標	思考・判断・表現	相モデルへの気遣いや、技術内容により、相モデルからの信頼感が得られる
	技能	シャワーヘッドの当て方、指の強さや動かし方、技術時間配分
	関心・意欲・態度	次の施術に合った内容で、相モデルが気持ちよく安心して任せているか
	知識・理解	全ての技術の順番や内容に理論があり、手順書通りに行えること
	備考	サロン実習の評価表を参考にする

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
	確認テスト(見返りシート)		25	25	25	25	100
	確認テスト(決められた時間内で仕上げる)		25	25	25	25	100
	期末試験()		25	25	25	25	100
評価の表示	準備から施術、片付けのジャッジと、相モデルの見返りシートを参考にし100点満点より算出し、絶対評価にて表示する						
評価の特記事項	サロン実習の評価表を基に、サロンでの接客や技術の向上をはかる						

テキスト・教材	美容技術理論・美容実習・理容師美容師教育センターＤＶＤ
その他参考書	実務経験のある教員作成による手順書・接客に関する手引き

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1～4回　4月	クロス掛け・ブラッシング・接客(ご案内の仕方)・ヘッドマッサージ
5～10回　5月	すすぎ・シャンプーイング(サイドシャンプー)タオルドライとターバン
11～21回　6・７月	シャンプーイング(バックシャンプー)・ブロードライスタイリング
22～30回　8～12月	シャンプーイング(ヘアカラー後のシャンプー)
３１～３6回　1月	サロン実習
37回～４０回　4月	シャンプーイング(ヘッドスパ)
41回～56回　5月	サロン実習

４１回～45回　６月	シャンプーイング(様々な場面のシャンプーイング)・ヘアアレンジなどの仕上げ
46回～65回　７月	ご案内～シャンプーイング～ブロードライスタイリングまたはヘアアレンジ～お見送り(相モデル)
66回～75回　１０月	ご案内～シャンプーイング～ブロードライスタイリングまたはヘアアレンジ～お見送り(相モデル)
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	美容師の経験から、様々な美容技術がスムーズに行えるシャンプー技術について展示講習をしつつ、授業を行う。より快適な気分を味わっていただけるお客様にとって気持ちの良い技術を心がけさせるとともに、体の位置や姿勢などに注意し技術者自身が腰痛など起こさないような指導を行う
備考	

松本理容美容専門学校

授業計画(シラバス)

授業科目名	美容実習（オールウェーブ）		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間
			実技			美容科	1～２年次	210時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	１年次4月～２年次１１	時限		資格対応	国家試験			

担当教員	小口/酒井/中村/平林/池脇/布山/古村	講師の実務経験	年以上	3

授業概要	国家試験課題であるオールウェーブ技術を正しく理解させる	
授業方法	理論～展示～実習～理論～実習～確認テスト～確認実習～期末試験	
授業目標	思考・判断・表現	全体バランス
	技能	基本技術　フィンガーウェーブ・スライス・シェープ・カーリング・ピニング
	関心・意欲・態度	授業出席・課題提出
	知識・理解	カールとウェーブの関係性・ウェーブ幅
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
	確認テスト(フィンガーウェーブ)		25	25	25	25	100
	確認テスト(カーリング)		25	25	25	25	100
	期末試験(決められた時間内で正しく作成)		50			50	100
評価の表示	国家試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する						
評価の特記事項	基本技術と正しい姿勢を体得し、決められた時間内で国家試験課題を正しく作成できること(時間設定は一か月前に告知)						

テキスト・教材	国家試験課題集・美容技術理論・美容実習・理容師美容師教育センターＤＶＤ
その他参考書	展示作品(合格ライン完成作品・カールとウェーブの関係性の展示作品)

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1～８回　11～２月	ウィックの仕込み・フィンガーウェーブ　　準備や正しい姿勢、基本技術の理解を目標
9回～25回4～7月	国家試験課題　全頭作成　　国家試験課題の理論の理解と作成・様々なカールの作成
26～75回　8～12月	国家試験課題　全頭　　国家試験課題を正しく作成・ローラーカーリング・アイロンセッティング
76回～80回　１月	国家試験課題　全頭　　時間内に国家試験課題を正しく作成
備考	

時間外での学習	練習の回数を重ねることで、正しいオールウェーブ技術と理解が深まるため課題提出を行う。

講師の実務経験と授業の関係	授業内ではウィックに行うが、美容室勤務の経験を活かし、さまざまな頭部や毛髪に合わせて技術を行うため、美容師としての経験の中で授業に合わせて伝えていくことで、イメージが付きやすく、美容室勤務の際にはスムーズに技術に入りやすくなることを目的としている。
備考	

松本理容美容専門学校

授業計画(シラバス)

授業科目名	美容実習（カッティング）		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間
			実技			美容科	1～２年次	210時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	１年次4月～２年次１１月	時限		資格対応	国家試験			

担当教員	小口/酒井/中村/平林/池脇/布山/古村	講師の実務経験	年以上	3

授業概要	ベーシックなカッティング技術と実践トレーニング及び国家試験課題	
授業方法	理論～展示～実習～理論～実習～確認テスト～確認実習～期末試験	
授業目標	思考・判断・表現	課題による仕上がりスタイル
	技能	基本技術　シザーズワーク・コームワーク、仕上がりスタイル
	関心・意欲・態度	授業出席・課題提出
	知識・理解	様々なスタイルの展開図とパネルの引き出し、カットラインの違いによるスタイルの理解
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
	確認テスト		25	25	25	25	100
	確認テスト(決められた時間内での作成)		25	25	25	25	100
	期末試験(決められた時間内で正しく作成)		50			50	100
評価の表示	国家試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する						

評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	１００点法	１００～８０	７９～６５	６４～６０	５９～２１	２０～０
		５段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	国家試験課題集・美容技術理論・美容実習・理容師美容師教育センターＤＶＤ
その他参考書	展示作品(合格ライン完成作品・ステムの角度とカットラインの関係性の展示作品)

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回～4回　4月	準備や正しい姿勢、基本技術の理解を目標
5回～10回　5月	ワンレングスカット　　ワンレングスカットが正確に切れる
11回～21回　6月	グラデーションカット　グラデーションカットが正確に切れる
22回～30回　7月	レイヤーカット　レイヤーカットが正確に切れる
1回～4回　5月	セイムレングスカット　セイムレングスカットが正確に切れる
5回～10回　6月	国家試験課題　全頭作成　　国家試験課題の理論の理解と作成
11回～21回　7月	国家試験課題　全頭　　国家試験課題を正しく作成
22回～30回　8月	国家試験課題　全頭　　決められた時間内に国家試験課題を正しく作成
備考	

時間外での学習	練習の回数を重ねることで、正しいカッティング技術と理解が深まるため課題提出を行う。
講師の実務経験と授業の関係	授業内ではウィックに行うが、美容室勤務の経験を活かし、さまざまな頭部や毛髪に合わせて技術を行うため、美容師としての経験の中で授業に合わせて伝えていくことで、イメージが付きやすく、美容室勤務の際にはスムーズに技術に入りやすくなることを目的としている。
備考	

松本理容美容専
門学校

授業計画(シラバス)

授業科目名	美容実習（アップセット）		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間
			実技			美容科	1～２年次	30時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	１年次７月～２年次７月	時限		資格対応	国家試験			

担当教員	小口/酒井/中村/平林/池脇/布山/古村	講師の実務経験	年以上	3

授業概要	基本的アップセット技法	
授業方法	理論～展示～実習～理論～実習～確認テスト～確認実習～期末試験	
授業目標	思考・判断・表現	様々なスタイルのアップセットとその仕上がり
	技能	コーム、ブラシワークと全体バランス、ピンやゴム、すき毛の使い方、ヘアアクセサリーの使い方
	関心・意欲・態度	授業出席・課題提出
	知識・理解	ブロッキング
	備考	

	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
評価	確認テスト		25	25	25	25	100
	確認テスト(決められた時間内での作成)		25	25	25	25	100
	期末試験(決められた時間内で正しく作成)		50			50	100
評価の表示	基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する						

評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	１００点法	１００～８０	７９～６５	６４～６０	５９～２１	２０～０
		５段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	美容技術理論・美容実習・理容師美容師教育センターＤＶＤ
その他参考書	展示作品(すき毛の見本・様々なスタイルの完成作品)

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1～3回　7月・8月	アップスタイルの基本技術　アップスタイルの基本技術が表現できる（ゴムの結び方、ブラシワーク）
４～6回　9～10月	様々な編み込みスタイル　　様々な編み込みスタイルが作成できる
7～8回　11～12月	一束結び　シニオンの構成、　基本のピンワーク
8～11回　1月・2月	夜会巻き　合わせ夜会　かさね夜会を作成できる　　ブラシワーク
12～15回　4～5月	日本髪　　基本の構成、ブラシワークを意識し、面のツヤ、毛流れの完成度を上げる
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	授業内ではウィックに行うが、美容室勤務の経験を活かし、さまざまな頭部や毛髪に合わせて技術を行うため、美容師としての経験の中で授業に合わせて伝えていくことで、イメージが付きやすく、美容室勤務の際にはスムーズに技術に入りやすくなることを目的としている。
備考	

松本理容美容専
門学校

授業計画(シラバス)

授業科目名	美容実習（メイク）	科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間

授業科目名	美容実習（ネイル）		実技		○	美容科	1～２年次	30時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	１年次4月～２年次１１月	時限		資格対応	国家試験			

担当教員	小口/酒井/中村/平林/池脇/布山/古村	講師の実務経験	年以上	3

授業概要	ベーシックメイクアップや、プロが使用しているコスメティックや道具を使用した応用テクニックを取得する	
授業方法	理論～展示～実習～理論～実習～確認テスト～確認実習～期末試験	
授業目標	思考・判断・表現	相モデルへの気遣いや、技術内容により、相モデルからの信頼感が得られる
	技能	スキンケアやポイントメイクの仕上がりやアイテムの使い方は正しいか
	関心・意欲・態度	相モデルに満足していただける仕上がりか
	知識・理解	全ての技術の順番や内容に理論があり、手順書通りに行えること
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	確認テスト		25	25	25	25	100	
	確認テスト		25	25	25	25	100	
	認定試験		50			50	100	
評価の表示	国家試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する		１００点法	１００～８０	７９～６５	６４～６０	５９～２１	２０～０
			５段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	美容技術理論・美容実習・ メイク用具一式・　まつ毛エクステンション一式（ウィック）
その他参考書	

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1～3回　7月・8月	スキンケア・ベースメイクアップ
４～7回　10～12月	アイメイク・アイブロウメイクアップ・リップメイクアップ・ブラッシュオンメイクアップ
8～10回　９月	ブライダル・成人式メイクアップ
11～15回　２月	まつ毛エクステンション
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	美容師の経験から、相モデルへの気づかいやモデルに似合うメイクアップ技術の提案などしつつ、授業を行っていきことを目的とする。また、まつ毛エクステンションは特に衛生面について注意を促すように、ウィックによる展示講習を行う。
備考	

松本理容美容専門学校

授業計画(シラバス)

授業科目名	美容実習（ネイル）		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間
			実技		○	美容科	1～２年次	30時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	１年次4月～２年次１１月	時限		資格対応	国家試験			

担当教員	小口/酒井/中村/平林/池脇/布山/古村	講師の実務経験	年以上	3

授業概要	爪先から手足全体を美しく健康的に、清潔にすることを目的としたネイル技術	
授業方法	理論～展示～実習～理論～実習～確認テスト	
授業目標	思考・判断・表現	相モデルへの気遣いや、技術内容により、相モデルからの信頼感が得られる
	技能	理論に沿った技術が行えていること
	関心・意欲・態度	授業態度、評価表
	知識・理解	全ての技術の順番や内容に理論があり、手順書通りに行えること
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
	確認テスト		25	25	25	25	100
	確認テスト(決められた時間内での作成)		25	25	25	25	100
	期末試験(決められた時間内で正しく作成)		50			50	100
評価の表示	基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する						

評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	１００点法	１００～８０	７９～６５	６４～６０	５９～２１	２０～０	
		５段階評定	5	4	3	2	1	

テキスト・教材	美容技術理論・美容実習・理容師美容師教育センターＤＶＤ
その他参考書	

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回～4回　4月	ハンドマッサージ(軽擦法～強擦～揉捻～圧迫)の手技と効能を理解し正しく行えること
5回～10回　5月	フットマッサージ(軽擦法～強擦～揉捻～圧迫)の手技と効能を理解し正しく行えること
11～15回　6月	ネイルケア(ネイル道具の名称と使い方)について理解する
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	美容師の経験を活かし、相モデルに衛生的で安心できる技術が行えるように指導することを目的とする。また、それぞれの手技と効能についての理解を深めるアドバイスをすることができる。
備考	

松本理容美容専門学校

授業計画(シラバス)

授業科目名	美容実習（エステ）		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間
			実技			美容科	1～２年次	30時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	１年次4月～２年次１１月	時限		資格対応	国家試験・美肌検定			

担当教員	小口/酒井/中村/平林/池脇/布山/古村	講師の実務経験	年以上	3

授業概要	化粧品や機器、手などで物理的・化学的な方法を施し、毛髪以外の全身に関わる皮膚の美容法を学ぶ	
授業方法	理論～展示～実習～理論～実習～確認テスト	
	思考・判断・表現	相モデルへの気遣いや、技術内容により、相モデルからの信頼感が得られる

授業目標	技能	理論に沿った技術が行えていること
	関心・意欲・態度	授業態度、評価表
	知識・理解	全ての技術の順番や内容に理論があり、手順書通りに行えること
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	確認テスト		25	25	25	25	100	
	確認テスト(決められた時間内での作成)		25	25	25	25	100	
	期末試験(決められた時間内で正しく作成)		50			50	100	
評価の表示	基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する		１００点法	１００～８０	７９～６５	６４～６０	５９～２１	２０～０
			５段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	美容技術理論・美容実習・理容師美容師教育センターＤＶＤ
その他参考書	

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回～4回　10月	エステティックの備品・機器、フェイシャルマッサージ
5回～10回　11月	フェイシャルマッサージ・ハンドマッサージ
11～15回12月・1月	フェイシャルパックとフェイシャルマスク
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	美容師の経験を活かし、相モデルに衛生的で安心できる技術が行えるように指導することを目的とする。また、それぞれの手技と効能についての理解を深めるアドバイスをすることができる。
備考	

松本理容美容専門学校

授業計画(シラバス)

授業科目名	芸術（色彩・デザイン）		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位
			美容選択必修科目	一般教養		美容科	1～２年次	６０時間
必修・選択	選択必修	その他履修条件						
開講期	１年次5月～２年次9月	時限		資格対応	パーソナルカラー検定			

担当教員	平野　西川	講師の実務経験	３年以上	3

授業概要	色彩感覚、デザイン感覚を養う	
授業方法	パーソナルカラー検定用、色彩理論　・色彩バランスコラージュ制作　・　ヘアデザイン画基礎から応用	
授業目標	思考・判断・表現	色彩感覚、デザイン感覚の習得
	技能	色彩知識、デッサン等作品制作
	関心・意欲・態度	授業出席・課題提出
	知識・理解	色彩における知識、ヘアデザインにおけるバランス

	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
	確認テスト（パーソネルカラー検定に基		25	25	25	25	100
	検試験		25	25	25	25	100
	作品提出		25	25	25	25	100
評価の表示	パーソナルカラー検定における知識、またデザイン画、色彩デザインコラージュ作品の仕上がりを相対的に判断し、100点法に当てはめる。						

評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0
		5段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	パーソネル検定テキスト、デザイン画用画材等
その他参考書	色相環等拡大パネル、デザイン画ベース用プリント

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回～10回	パーソナル検定対策授業
11回～15回	色彩デザインコラージュ策分
16回～20回	ヘアデザイン画基礎
21回～30回	ヘアデザイン画応用から、トータルデザイン作成
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	デザイン業の経験をいかして、理美容師としてのヘアデザインバランス、色彩感覚が身につくよう、クリエイターとしての立場から、アドバイス提言を行う。
備考	

松本理容美容専門学校

授業計画(シラバス)

授業科目名	健康運動学		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位時間)
			美容選択必修科目	一般教養		美容科	1～２年次	30時間
必修・選択	選択必修	その他履修条件						
開講期	１年次4月～２年次2月	時限		資格対応				

担当教員	谷嶋／山田	講師の実務経験	３年以上	3

授業概要	体幹を鍛え柔軟性を付け体力アップを図る。理美容師として意識すべき疾病への対策、栄養学	
授業方法	体幹ストレッチを入れた有酸素運動、健康保持のための疾病予防法	
授業目標	思考・判断・表現	体力維持法、疾病予防知識と栄養バランス知識の習得
	技能	体幹ストレッチ柔軟性、疾病予防対策
	関心・意欲・態度	授業出席・課題提出
	知識・理解	体幹力アップ法、疾病に対する詳細
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	体幹測定等		25	25	25	25	100	
	課題レポート		25		25	50	100	
評価の表示	授業中における、体幹測定及び健康学レポート内容における総合的判断により、100点法に置き換え、評価する。							
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0
			5段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	疾病対策、栄養学における資料プリント
その他参考書	

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1～５回	柔軟性を作るためのストレッチ　・ウォーキング
６～１２回	音楽に合わせた体幹トレーニング
１３～２４回	トレーニングボール等用いた体幹トレーニング
２５～３０回	理美容師としての病気にかからないための基礎知識
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	スポーツインストラクターから、理美容師の足し仕事における疲労軽減法や、腰痛対策につながる体幹ストレッチ等を学ぶ。また、感染症研究の経験から疾病予防の対策や健康保持のための栄養バランス食生活へのアドバイスをもらう
備考	

松本理容美容専門学校

授業計画(シラバス)

授業科目名	コミュニケーション		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位
			美容選択必修科目		○	美容科	1～２年次	60時間
必修・選択	選択必修	その他履修条件						
開講期	１年次4月～２年次２月	時限		資格対応	サービス接遇検定３級			

担当教員	田中／宮崎／金	講師の実務	３年以上	3

担当教員	田中 吾朗 [illegible]	経験	3年以上	3

授業概要	接客業における、対人コミュニケーション力アップ、自己アピールプレゼン力を身に着ける	
授業方法	講義　～　レポート提出　～検定	
授業目標	思考・判断・表現	コミュニケーション力、スキルの向上
	関心・意欲・態度	授業出席・課題提出
	知識・理解	レポート提出、検定
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)			
	課題レポート		25	25	50	100			
	検定対策		25	25	50	100			
	プレゼン力		25	25	50	100			
						100			
評価の表示	国家試験の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する								
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0	
			5段階評定	5	4	3	2	1	

テキスト・教材	心理学テキスト　、サービス接遇テキスト　検定対策問題
その他参考書	心理テスト他

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1～１５回	心理学、対人コミュニケーション対策、カウンセリング
16～25回	サービス接遇検定対策
26～30回	自己アピール、プレゼンテーション法
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	接客業における円滑な対人コミュニケーションの方法、また、サロンにおける、クレーム対応、プレゼンテーション力を上げる方法を他分野に精通している講師から学ぶ
備考	

松本理容美容専門学校

授業計画(シラバス)

授業科目名	社会福祉学	科目種	区分	企業等連携		配当年次	単位(単位
		美容選択必修科目	一般教養		美容科	２年次	30時間

必修・選択	選択必修	その他履修条件			
開講期	2年次7月	時限		資格対応	準福祉理美容士

担当教員	丸山（看護師・介護講師）/齋藤（介護士・介護講師）　/小口/池脇	講師の実務経験	3年以上	3

授業概要	高齢者、障害者に対する理解を深め、訪問理美容における知識習得と、準福祉理美容士習得を目指す	
授業方法	理論～実習～検定	
授業目標	思考・判断・表現	高齢者、障害者に対する理解、対応
	技能	介助方法、施術方法
	関心・意欲・態度	授業出席・課題提出
	知識・理解	レポート提出、検定試験
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
	検定プレテスト		25	25	25	25	100
	レポート		25	25	25	25	100
評価の表示	準福祉理美容士検定試験に基づき100点満点より算出し絶対評価をする						
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0
			5段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	テキスト、車いす、高齢者疑似体験セット、障害者体験用狂い
その他参考書	DVD等

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回目	福祉理美容士とは、　視覚障害対応
2回目	介護について（保険制度、疾病等）
3回目	介護実習　（車いす移動、ベット介助、視覚障害誘導）
4回目	高齢者疑似体験、寝たきりシャンプー、カット実習
5回目	ボランティア（高齢者施設におけるハンドケア）
６回目	介護理論（衛生面）試験対策
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	訪問理美容の需要が増えてる中で、介護技術、対応を介護現場の講師から実践的に学び、将来の仕事の幅を広げていく
備考	

松本理容美容専門学校

授業計画(シラバス)

授業科目名	着付け／（選択着付け・カット）		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位
			選択必修科目	専門教育		美容科	1年次	６０時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	１年次9月～12月	時限		資格対応	山野流着装　初中伝			

担当教員	着付け資格有美容科職員　／　山野流講師	講師の実務経験	3年以上	3

授業概要	着付けの基礎技術を理解し、身に着ける	
授業方法	理論　～　実習　～　査定	
授業目標	思考・判断・表現	着付けの際、相手への気使い、心配り
	技能	自分できる、相手に着つける着付け技術
	関心・意欲・態度	授業出席
	知識・理解	筆記試験・査定
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
	筆記テスト（着付け知識）		25		25	50	100
	査定		25	25	25	25	100
評価の表示	基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する						

評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0	
		5段階評定	5	4	3	2	1	

テキスト・教材	
その他参考書	

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回目	着付けの理論、小物準備
2回目	一人で着る着付け（浴衣）
3回目	一人で着る着付け（小紋）
4回目	一人で着る着付け（小紋）
5回目	相手に着つける着付け（振袖）
6回目	相手に着つける着付け（振袖）
7回目	相手に着つける着付け（振袖）
8回目	相手に着つける着付け（留めそで）
9回目	相手に着つける着付け（留めそで）
10回目	相手に着つける着付け（留めそで）
11回目	相手に着つける着付け（留めそで）
12回目	査定
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	サロンにおける着付け技術を現場で働く着付け講師から、お客様に対応のポイントも入れながら学ぶ
備考	

松本理容美容専門学校

授業計画(シラバス)

授業科目名	カット／　（選択着付け・カット）		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位
			選択必修科目	専門教育		美容科	1年次	６０時間
必修・選択	選択必修	その他履修条件						
開講期	１年次9月～12月	時限		資格対応				

担当教員	選任教師　/　peek-a-boo サロン講師	講師の実務	3年以上	3

担当教員	選任教師 / peek-a-booヘアー講師	経験	5年以上	5

授業概要	サロンにおけるデザインカット学ぶ	
授業方法	理論　～　展示　～実習	
授業目標	思考・判断・表現	スタイルの違い、シザーズ・コームワークを理解
	技能	基本技術　姿勢、シザーズの持ち方、コームワーク、
	関心・意欲・態度	出席・作品提出
	知識・理解	デザインに伴ったパネルの引き出し等基本カット技術を理解習得
	備考	

	評価方法	評価の観点	思考・判	技能	関心・意	知識・理解	合計(点)
評価	作品提出（スタイルごと）		25	25	25	25	100
	最終作品		25	25	25	25	100
評価の表示	作品の基準デザインの完成度に応じて100点満点より算出し、絶対評価にて表示する						

評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0	
		5段階評定	5	4	3	2	1	

テキスト・教材	peek-a-booカットテキスト、カット用具一式、カットウィック
その他参考書	展示作品（スタイル別完成作品）

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回目	理論、シザーズの持ち方、コームワーク、カット姿勢、立ち位置
2回目	ワンレングス　・　ブロー
3回目	復習
4回目	グラデーションカット１
5回目	復習
6回目	グラデーションカット2
7回目	復習
8回目	レイヤーカット1
9回目	復習
10回目	レイヤーカット２
11回目	復習
12回目	最終作品制作

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	美容師経験を活かし、基礎的ヘアスタイルからアレンジスタイルまで、今のサロンスタイルを交えながら指導していく。美容師としての経験の中で授業に合わせて伝えていくことで、イメージが付きやすく、美容室勤務の際にはスムーズに技術に入りやすくなることを目的としている。
備考	

松本理容美容専門学校

授業計画(シラバス)

		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位時間)
授業科目名	シャンプー・ヘッドスパ			○	美容科		30

			選択必修科目		○	美容科	1～2年次	90
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年次4月～2年次１１	時限		資格対応				

担当教員	早川　資生堂インストラクター　　平林、布山、酒井、小口　　担任	講師の実務経験	年以上	3

授業概要	全ての基礎を作る前の施術であるシャンプー技術を正しく理解させ、お客様にとって気持ちよい施術を行う	
授業方法	理論～展示～実習～確認テスト～実習～テスト(評価)	
授業目標	思考・判断・表現	相モデルへの気遣いや、技術内容により、相モデルからの信頼感が得られる
	技能	シャワーヘッドの当て方、指の強さや動かし方、技術時間配分
	関心・意欲・態度	次の施術に合った内容で、相モデルが気持ちよく安心して任せているか
	知識・理解	全ての技術の順番や内容に理論があり、手順書通りに行えること
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
	確認テスト(見返りシート)		25	25	25	25	100
	確認テスト(決められた時間内で仕上げる)		25	25	25	25	100
	期末試験()		25	25	25	25	100
評価の表示	準備から施術、片付けのジャッジと、相モデルの見返りシートを参考にし100点満点より算出し、絶対評価にて表示する						
評価の特記事項	シャンプーの基礎知識やシャンプー技術を評価する。						

テキスト・教材	美容技術理論・美容実習・理容師美容師教育センターＤＶＤ、
その他参考書	実務経験のある教員作成による手順書・接客に関する手引き

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回　5月	シャンプー理論、シャンプー剤について
2～5回　5～7月	ブラッシング理論、セッティング、ブラシの扱い方、マッサージ理論、基本動作、ドライの仕方、手順(プレーンリンス)
6回　8月	サロン技術のサイドシャンプー展示講習(資生堂講師)
7～8回　8～9月	サロンで通用する技術習得
9～12回　10～11月	サイドシャンプー実技試験(手技、手順、姿勢、声掛け)
13～15回　12～1月	サイドシャンプー時間計測(時間内作業を目指す)
16回　4月	サロン技術のバックシャンプー展示講習(資生堂講師)
17～18回　4～5月	サロンで通用する技術習得
19～22回　5～6月	バックシャンプー実技試験(手技、手順、姿勢、声掛け)
23～25回6～7月	バックシャンプー時間計測(時間内作業を目指す)
26回　8月	サロン技術のヘッドスパ展示講習(資生堂講師)
27回～30回8～9月	ヘッドスパ技術習得
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	美容師の経験から、様々な美容技術がスムーズに行えるシャンプー技術について展示講習をしつつ、授業を行う。より快適な気分を味わっていただけるお客様にとって気持ちの良い技術を心がけさせるとともに、体の位置や姿勢などに注意し技術者自身が腰痛など起こさないような指導を行う

備考	

松本理容美容専
門学校

授業計画(シラバス)

授業科目名	メイクアップ		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位
			選択必修科目		○	美容科	1年次	60時間
必修・選択	選択必須	その他履修条件						
開講期	１年次4月～7月	時限		資格対応	ＪＭＡメイクアップ技術検定			

担当教員	アリミノ（インストラクター）　ビースタッフ山口　酒井・池脇	講師の実務経験	年以上	3

授業概要	メイクの基礎知識や基礎技術を学習し、ＪＭＡメイクアップ技術検定試験を取得する	
授業方法	実習体系にて相モデルで行う	
授業目標	思考・判断・表現	デザイン性、清潔、美しさ
	技能	メイク技術
	関心・意欲・態度	授業態度・課題提出
	知識・理解	メイクの知識
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	認定試験		25	25	25	25	100	
	ＪＭＡ検定に準じた認定試験		50			50	100	
	合計							
評価の表示	検定の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する		１００点法	１００～８０	７９～６５	６４～６０	５９～２１	２０～０
			５段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	ＪＭＡメイクアップ技術検定テキスト・メイク道具一式
その他参考書	

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回～4回　４月	メイク技術の基礎的知識とメイク手法が理解できる
5回～10回　５月	様々なイメージのメイク技術が理解できる
11回～21回　６月	スキンケア～ベースメイクアップが正しく行える
22回～30回　７月	スキンケア～ベースメイクアップ～ポイントメイクアップ(フルメイク)が正しく行えて、美しい仕上がりに施術することが
備考	

時間外での学習	

講師の実務経験と授業の関係	メイクアップアーティストの経験より、仕事の現場で使用する道具や、仕事の現場での知識や技術を伝えていただき、即現場で実践できる美容師の育成を目的とする
備考	

松本理容美容専門学校

授業計画(シラバス)

授業科目名	ヘアデザイン（外来カット）		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間
			選択必修科目		○	美容科	1年次	30時間
必修・選択	選択必須	その他履修条件						
開講期	１年次4月～２月	時限		資格対応				

担当教員	美容室サロンスタッフ/　担任	講師の実務経験	年以上	3

授業概要	カット技法の中のワンレングスから基礎知識と応用技術を習得していくことを目的とする	
授業方法	理論～展示～実習～課題提出～実習～確認テスト～最終テスト	
授業目標	思考・判断・表現	準備、作業途中技術
	技能	カット技術
	関心・意欲・態度	授業態度
	知識・理解	手順、作業姿勢
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
	課題提出		25	25	25	25	100
	最終テスト		25	25	25	25	100
評価の表示	担当講師の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する						

評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	１００点法	１００～８０	７９～６５	６４～６０	５９～２１	２０～０
		５段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	ｐｅｅｋ－ａ－ｂｏｏカットテキスト・ウィック・クランプ・カッティング道具
その他参考書	

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
１回　５月	カッティングの基礎知識と基本動作を理解し実行できる　ワンレングスを正しく切れる
２～5回　5月	フォワードシェープ、マッシュボブ　縦スライスの引き出し
6～10回　6月	バックシェープ、前下がりボブ、バックグラデーションが正しく切れる
11～14回　7月	セイムレイヤーが正しく切れる
15回　７月	課題制作～最終テスト
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	日々美容室でサロンワークを行う講師が授業を展開していくことで、カット技術の基礎がサロンワークに繋がることを意識することができる。
備考	

松本理容美容専門学校

授業計画(シラバス)

授業科目名	ヘアデザイン（　パーマ　）		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間
			選択必修科目			美容科	1年次	30時間
必修・選択	選択必須	その他履修条件						
開講期	2年次4～7月	時限		資格対応	国家試験			

担当教員	資生堂インストラクター　・　ルシュ　（専任）布山、古村　担任	講師の実務経験	年以上	3

授業概要	パーマの基礎知識と様々な種類のパーマネントを行いその特徴を理解する。また、似合わせのカウンセリング技術を習得す	
授業方法	理論～展示～実習～理論～実習～最終テスト	
授業目標	思考・判断・表現	デザイン性、作業中技術方法
	技能	仕上がり
	関心・意欲・態度	授業態度
	知識・理解	パーマネントウェーブ理論の理解
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
	課題提出		25	25	25	25	100
	課題発表		25	25	25	25	100
	合計						
評価の表示	基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する						
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する		１００点法	１００～８０	７９～６５	６４～６０	５９～２１	２０～０
			５段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	資生堂講師によるテキスト、パーマ道具、カット道具、パーマネントウェーブ溶剤、ストレートアイロン、ウィック、キュ
その他参考書	展示作品

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回　８月	ベストマッチングの法則　似合わせのカウンセリング技術を学び理解する　パーマの基礎知識を理解する
2・3回　９月	コールド系パーマが正しく行える・縮毛矯正技術が正しく行える
4・5回１０、１１月	ホット系パーマ(クリスタライジングキュール)で正しく技術を行える・デザインパーマの作成
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	日々、美容室でサロンワークを行っているため、仕事の現場で使用する道具や、仕事の現場での知識や技術を伝えていただき、即現場で実践できる美容師の育成を目的とする
備考	

松本理容美容専門学校

授業計画(シラバス)

授業科目名	ヘアデザイン　（ヘアカラー）		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位
			選択必修科目	専門教育	○	美容科	1年次	30時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	1年次9月～2月	時限		資格対応	ヘアカラーリストシグルスター			

担当教員	サロン講師／　小穴（ＪＨＣＡカラー講師）　／　専任教師	講師の実務経験	3年以上	3

授業概要	ヘアカラーにおける知識、塗布技術を習得	
授業方法	理論～展示～実習～検定～実習～最終テスト	
授業目標	思考・判断・表現	カラーにおける知識、施術手順
	技能	カラー施術のブロッキング、手順
	関心・意欲・態度	授業出席
	知識・理解	カラーにおける知識、ブロッキング等カラーにおけるスタイルに合わせたパターン
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
	検定		25	25	25	25	100
	最終テスト（ハーフヘッドウィービング）		25	25	25	25	100
	合計						
評価の表示	検定の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する						
評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する		100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0
			5段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	カラーテキスト、カラー用具一式
その他参考書	展示作品、ブロッキング図

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1～3回	カラー理論、基本塗布テクニック（ワンメイク、ゼロテク）
4～5回	ハイライトテクニック、酸性カラー塗布

6～8回	検定対策
9回	検定
１０回	サロンデザインカラー
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	サロンの施術の需要幅の多いヘアカラーの技術を、カラーリストの講師からサロンワークのテクニックを取り入れながら学び習得
備考	

松本理容美容専門学校

授業計画(シラバス)

授業科目名	選択　フォト＆メイク		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間
			選択実習			美容科	２年次	30時間
必修・選択	選択必須	その他履修条件						
開講期	２年次6・7月	時限		資格対応				

担当教員	Be-staff　竹内　・M.SLASH　小松　・　東谷　・酒井・池脇	講師の実務経験	年以上	3

授業概要	エアーブラシなどを使用し特殊メイクや撮影メイクを行う	
授業方法	理論～展示～実習～理論～実習～フォトコンテスト	
授業目標	思考・判断・表現	デザイン性
	技能	ヘアセット・メイク技術・フォトテクニック
	関心・意欲・態度	授業態度
	知識・理解	メイク技術の作成方法
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	課題作成　特殊メイク		25	25	25	25	100	
	課題作成エアーブラシ		25	25	25	25	100	
	フォトコン		25	25	25	25	100	
	合計							
評価の表示								
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する		１００点法	１００～８０	７９～６５	６４～６０	５９～２１	２０～０
			５段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	エアーブラシ、メイク道具、特殊メイク道具

その他参考書	

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回　　４月	安藤　　ヘアセットテクニック
2回　　4月	竹内　　メイクテクニック
３回　　５月	小松　　フォトテクニック、ヘアセット
４回　　5月	竹内　　メイクテクニック、フォトデザイン作成
5回　　5月	作品制作　フォトコンテスト
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	メイクアップアーティストの経験より、仕事の現場で使用する道具や、仕事の現場での知識や技術を伝えていただき、即現場で実践できる美容師の育成を目的とする
備考	

松本理容美容専門学校

授業計画(シラバス)

授業科目名	選択　まつ毛エクステ		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間
			選択実習			美容科	２年次	30時間
必修・選択	選択必須	その他履修条件						
開講期	2年次6・7月	時限		資格対応	ＪＥＡ3級			

担当教員	志太　・　古村　・平林	講師の実務経験	年以上	3

授業概要	アイリストとしての心構え、衛生管理、まつ毛エクステテクニック、検定対応、アイケア応用	
授業方法	理論～展示～実習～理論～実習～　検定	
授業目標	思考・判断・表現	デザイン性
	技能	まつ毛エクステ基礎テクニック
	関心・意欲・態度	授業態度
	知識・理解	まつ毛エクステ技術
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
	課題作成	基礎技術（衛生含む）	25	25	25	25	100
	課題作成	デザイン	25	25	25	25	100
	授業態度		25	25	25	25	100

	合計						
評価の表示							
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	１００点法	１００～８０	７９～６５	６４～６０	５９～２１	２０～０
		５段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	日本理容美容教育センター発行まつ毛エクステンションテキスト、検定対策資料　LIONセット（ＡＢＥまつ毛エクステンション対応キット）
その他参考書	

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回　　4月	アイリストとしての心構え、衛生管理、基礎テクニック
2・3回　　4月	まつ毛エクステテクニック　検定対応
４回　　5月	まつ毛テクニック　検定　デザインまつ毛エクステ
5回　　5月	アイブローデザインテクニック
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	美容サロンメニューの中で需要があるまつ毛エクステテクニックを、アイリストの経験を通して基礎から応用技術と衛生面、安全面を考慮した適切な施術が習得できるようにしていく。
備考	

松本理容美容専門学校

授業計画(シラバス)

授業科目名	選択　カット　カラー　（前期・後期）		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位
			選択必修科目	専門教育	○	美容科	2年次	30時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	２年５月～７月	時限		資格対応	ヘアカラーリストシグルスター			

担当教員	サロン講師　百瀬　／　小穴、　/　　布山　・　中村　・小口	講師の実務経験	３年以上	3

授業概要	ヘアカラーにおける知識、塗布技術を習得	
授業方法	理論～展示～実習～検定～実習～最終テスト	
授業目標	思考・判断・表現	カラーにおける知識、施術手順　　サロンカットにおける基礎知識
	技能	カラー施術のブロッキング、手順　　カット手順
	関心・意欲・態度	授業出席
	知識・理解	カラーにおける知識、ブロッキング等カラーにおけるスタイルに合わせたパターン、カットスタイルとの組合せ
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
	検定		25	25	25	25	100
	最終テスト（ヘアカット・カラーデザイン作成）		25	25	25	25	100
	合計						
評価の表示	検定の基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する						

評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0
		5段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	カラーテキスト、カラー用具一式　　カット用具一式
その他参考書	展示作品、ブロッキング図　　カラー入門

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回　（4月・5月）	カラー理論、基本ブリーチ塗布テクニック（ホイルワーク）
2回　（4月・5月）	カットスタイル　①
3回（5月・6月）	カットスタイル　②
4回（5月・6月）	デザインカラー
5回（5月・7月）	デザインカット・カラー作品作成
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	サロンの施術の需要幅の多いヘアカラーの技術を、カラーリストの講師からサロンワークのテクニックを取り入れながら学び習得
備考	

松本理容美容専門学校

授業計画(シラバス)

授業科目名	選択　ネイル		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間
			選択実習			美容科	2年次	30時間
必修・選択	選択必須	その他履修条件						
開講期	2年次4・5月	時限		資格対応	ＪＮＡジェルネイル検定			

担当教員	伊藤（ネイルインストラクター）/　中村、平林	講師の実務経験	年以上	3

授業概要	ジェルネイル検定、ジェルデザインネイル	
授業方法	理論～展示～実習～理論～実習～課題提出	
	思考・判断・表現	デザイン性

授業目標	技能	ネイル技術（ジェルエイル検定）
	関心・意欲・態度	授業態度
	知識・理解	ネイル技術の作成方法
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)	
	ネイル検定・作品制作		25	25	25	25	100	
評価の表示	基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する							
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する		１００点法	１００～８０	７９～６５	６４～６０	５９～２１	２０～０
			５段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	ジェルネイル、ネイル用具
その他参考書	

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回～３回　6月	ジュエネイルの基礎知識、テクニック、デザイン
4・5回　7月	ジェルネイル検定対策　、検定
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	ネイリストの経験より、仕事の現場で使用する道具や、仕事の現場での知識や技術を伝えていただき、即現場で実践できる美容師の育成を目的とする
備考	

松本理容美容専門学校

授業計画(シラバス)

授業科目名	選択ブライダル		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位
			選択実習			美容科	２年次	30時間
必修・選択	必修	その他履修条件						
開講期	１年次4月～２年次１１	時限		資格対応				

担当教員	シュール　網野、　三善　大竹、アムールマヤ　藤原、　平林、　古村	講師の実務経験	年以上	3

授業概要	ブライダルの知識とブライダルの技術を学び、花嫁の作成を行う
授業方法	理論～展示～実習～理論～実習～最終テスト

授業目標	思考・判断・表現	課題作成
	技能	最終テスト
	関心・意欲・態度	授業態度
	知識・理解	最終テスト
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)		
	課題作成		25	25	25	25	100		
	授業態度		25	25	25	25	100		
	最終テスト		25	25	25	25	100		
	合計								
評価の表示	基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する								
評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する		１００点法	１００～８０	７９～６５	６４～６０	５９～２１	２０～０	
			５段階評定	5	4	3	2	1	

テキスト・教材	ヘアセット教材、メイク教材（水おしろい）
その他参考書	展示作品

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
１回　６月	ブライダルの知識
２回　６月	和装、洋装のメイク
３回　　６月	洋装ヘアとフラワーのワイヤリング技術
４回　６月	和装ヘア
５回　７月	最終テスト（花嫁作成）
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	ブライダルの実践的経験を活かし、ブライダルの知識と技術を習得させることとを目的としている。
備考	

松本理容美容専門学校

授業計画(シラバス)

授業科目名	総合技術（ネイル）		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	単位(単位
			選択必修科目	専門教育	○	美容科	1年次	30時間
必修・選択	選択必修	その他履修条件						
開講期	１年次9月～12月	時限		資格対応	INAネイルA検定			

担当教員	伊藤（ネイルインストラクター）　星（ネイル講師）　/　　中村 /	講師の実務経験	3年以上	3

授業概要	サロン需要の高まりがある、ネイル、ハンドケア技術を習得	
授業方法	理論～展示～実習～検定　～応用技術	
授業目標	思考・判断・表現	ケア、ネイルのバランス
	技能	ネイルケア、カラーリング、
	関心・意欲・態度	授業出席・課題提出
	知識・理解	爪の構造、衛生上の扱い、施術手順
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
	確認テスト（検定の流れの理解）		25	25	25	25	100
	検定試験		25	25	25	25	100
	期末試験(決められた時間内で正しく作成)		50			50	100
	合計						
評価の表示	検定合格基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する						

評価の特記事項	評価は5段階評定にて表示する	100点法	100～80	79～65	64～60	59～21	20～0	
		5段階評定	5	4	3	2	1	

テキスト・教材	ネイル検定用テキスト、ネイル用用具一式　理容理論、理容実習
その他参考書	

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回	爪の構造、衛生上の取り扱い、禁忌事項
２～5	ハンドケア，ネイルケア、カラーリング技術検定対策
６回	検定
備考	

時間外での学習	練習の回数を重ねることで、ケア、カラーリングの技術向上、安定化。
講師の実務経験と授業の関係	サロンにおけるハンドケア、ネイルケア需要に対応できる、必要技術であることを技術展示を行いながら、サロンでの実例を挙げていく。また、美容師としての付加価値をつける。
備考	

松本理容美容専
門学校

授業計画(シラバス)

授業科目名	総合技術（応用技術）		科目種	区分	企業等連携	設置学科	配当年次	総時間
			選択実技			美容科	２年次	120時間
必修・選択	選択必須	その他履修条件						
開講期	２年次4月～3月	時限		資格対応				

担当教員	小口/酒井/中村/平林/池脇/布山/古村	講師の実務経験	年以上	3

授業概要		
授業方法	理論～展示～実習～理論～実習～確認テスト	
授業目標	思考・判断・表現	接客・応用力
	技能	施術中の作業技術、施術中の作業姿勢、仕上がり審査、評価表
	関心・意欲・態度	授業態度、積極性
	知識・理解	作業手順
	備考	

評価	評価方法	評価の観点	思考・判断・表現	技能	関心・意欲・態度	知識・理解	合計(点)
	確認テスト		25	25	25	25	100
	評価表		25	25	25	25	100
	合計						
評価の表示	基準に沿って100点満点より算出し、絶対評価にて表示する						

評価の特記事項	評定は5段階評定にて表示する	１００点法	１００～８０	７９～６５	６４～６０	５９～２１	２０～０
		５段階評定	5	4	3	2	1

テキスト・教材	美容技術理論・美容実習・カットウィック・クランプ・カット道具
その他参考書	展示作品

授業計画	
実施回・期間	授業内容・目標
1回～4回4～7月	応用カットでサロンスタイルの作成ができる（ウィックのみ）
5回～10回８～10月	シャンプーブロー・ヘアアレンジメントをスムーズに行うことができる
11回～21回11～12月	ヘッドスパの知識と技術が理解できる
22回～30回1～３月	シャンプーブローや接客によって相モデルに満足していただけることができる
備考	

時間外での学習	
講師の実務経験と授業の関係	カット技術以外は、相モデルで行う応用実習のため、美容師経験を活かし様々な状態のモデルの髪質や骨格を把握し、最適な施術ができる指導が行える。また、カット技術は基本技術を応用していくため、サロンでの経験の中での情報を含めて指導することができる。
備考	